

令和7年度 結果の分析及び今後の改善策(案)

(中間 **最終**)

仁方中学校区 校番1 学校名 呉市立仁方中学校

重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(今年度) 経営目標	l 結果の分析 (結果と課題をこう考えます)	m 今後の改善策(案) (こう改善します(案))
<p>***</p> <p>自己実現</p>	<p>○主体的に学び、思考力・判断力・表現力を育てる。</p>	<p>①生活をよりよくするために、自分の考えを深め、表現する授業づくり</p> <p>②基礎学力の定着と向上</p>	<p>①「週課題の計画的な実施」では、週課題を必ず提出している生徒の割合が85%から82%へと下がっている。目標値の80%は達成しているが、5人に1人は提出物を出し切れていない。仁方中学校全員が提出物への高い意識を持って取り組ませる必要がある。</p> <p>②月に1冊本を読んでいる生徒の割合が92%から87%へと減っているが、90%近くの生徒が月に1冊本を読んでいるのはとても良いことである。課題は、読んでいる本の内容が今の自分にあっていられるかも大切である。</p> <p>③授業でタブレット端末を活用することができる教職員の割合が2月でも78%と目標値の100%には遠い。課題はこれからどの授業でもタブレットを効果的に使用できるスキルを身に付けることである。</p>	<p>①週課題一覧表や提出物チェック表を活用して、保護者と連携を取りながら取り組んでいく。教科担当と学級担任が声掛けをしていく。</p> <p>②図書部や文化委員との連携をして、より良い本を見つける工夫をしていく。また、教職員も一緒に本を読む。</p> <p>③すべての教科でタブレットを使用するのは難しいが、効果的に使用することに挑戦する。タブレットが苦手な教職員もいるため、簡単な内容から学校で共有していく。</p>
<p>**</p> <p>豊かな心</p>	<p>○自らを律し、他人を思いやる豊かな心を育む。</p>	<p>①自己肯定感・集団適応感の向上</p> <p>②規範意識の向上と豊かな心の育成</p> <p>③心身の健やかな発育</p> <p>④安心・安全な風土の高い学校</p>	<p>④【自己肯定感・集団適応感の向上】生徒アンケート「縦割り活動で達成感を感じている」の肯定的評価が100%であった。総合文化行事や各委員会での取組が大変効果的であると考える。</p> <p>⑤【規範意識の向上と豊かな心の育成】「N中メソッドの定着(時・場・礼)」に関わる生徒アンケートでは多くの項目で目標を達成したが、「あいさつ」の項目で肯定的評価が他の項目に比べ低くなっている。ボランティアに参加する生徒の割合は増加した。</p> <p>⑥【心身の豊かな発育】生徒アンケート「学校に自分の居場所がある」の肯定的評価は100%であった。校内SSRには現在11名在籍しているが、常時利用している生徒は4名ほどである。不登校生徒数は減少している。</p> <p>⑦新体力テストでの課題項目の中で全国平均を超えたのは33%で目標に達することはできなかった。</p> <p>⑧【安心・安全な風土の高い学校】生徒アンケート「学校に行くのは楽しい」の肯定的評価は89%、受援力の項目は95%で高い数値ではあるが、前期に比べ肯定的評価は減少している。</p>	<p>④三送会や卒業式に向け、縦割り活動を充実させていく。新年度に向けて、先輩としての振る舞いや行動を指導していく。</p> <p>⑤レベル4の挨拶に関する取組を生徒会と連携して計画・実施する。仁方挨拶運動を活用し、挨拶の項目のレベルアップを目指す。</p> <p>⑥丁寧な教育相談を継続して行うとともに、全教員で連携して生徒の実態把握に努める。</p> <p>⑦体育の時間以外も、継続して運動に取り組むことができるよう指導を行う。</p> <p>⑧道徳の授業や普段の指導の中で、人のことを考えて行動できる姿勢を養う。生徒会と協力して、いじめ防止に向けた取組を行う。</p>
<p>*</p> <p>業務改善</p>	<p>○教職員が自らの意欲と能力を発揮できる教育環境を整備する</p>	<p>組織的な業務改善の推進</p>	<p>⑨毎月の時間外勤務45時間未満の教職員の割合として、下半期の達成率は56%であり、上半期と変化がない。2学期は、中学校区の研究会もあり、教職員の時間外勤務が増えていた。</p> <p>⑩教職員アンケート「生徒と向き合う時間が確保されている」の肯定的評価は93%であった。日頃の授業等を通して生徒とのかかわりができている。</p> <p>⑪教職員アンケート「日々の業務の中で充実感を得られている」の肯定的評価は94%で、「良くてはまる」の割合は69%と上昇している。</p>	<p>⑨教職員一人一人のモチベーションが向上し、健康で働きがいが高い職場となるよう、スクラップできることを管理職・教職員とともに考える。</p> <p>⑩呉市教育委員会と連携をしながら、テストの自動採点システム等を活用しながら時間の有効活用を図る。</p> <p>⑪教職員のQOLを意識しながら、それぞれの強みを生かし、チームとして学校組織が機能したりできる取組を継続する。</p>

